

比企の太陽光発電を 考える

講演会

埼玉県比企郡でもメガソーラーによる大規模な自然破壊への懸念が高まっています。自然環境保全と太陽光発電との両立は可能なのか、住民参加による持続可能な社会づくりをどう進めたらいいのか。

開催日●2019年**11**月**4**日(月曜日・祝日)
PM**1:30**~**4:30**

講師●**飯田哲也**氏(環境エネルギー政策研究所所長)

会場●**鳩山町・今宿コミュニティーセンター**

交通●東武東上線坂戸駅から川越観光バス「大橋」行バス
12:49 発→「公園前」下車すぐ
(なるべく公共交通機関をご利用下さい)

運営●**比企の太陽光発電を考える会**

共催●埼玉県生態系保護協会 東松山・鳩山・滑川支部
NPO法人はとやま環境フォーラム

後援●鳩山町

問合せ先●TEL 049-227-3001 (はとやま環境フォーラム)



【いいた・てつなり】

1959年山口県生まれ。京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻修士課程修了。原子力産業や安全規制に従事後、「原子カムラ」を脱出して北欧での研究活動や非営利活動を経てISEP(環境エネルギー政策研究所)を設立し現職。持続可能なエネルギー政策の実現をめざし、提言・活動を行なっている。2014年より全国ご当地エネルギー協会事務総長をつとめ、地域からのエネルギーシフトを進めるために全国を奔走中。著書に「エネルギー進化論」(ちくま新書)など多数。

参加費
400円